

2025年度 学習指導計画表

京都長尾谷高等学校

〔科目名：科学と人間生活〕〔単位数：2単位〕〔使用教科書：科学と人間生活 東京書籍〕〔使用副読本：ニューサポート 科学と人間生活〕

学期	授業回	項目	教科書		副読本
			内容	ページ	ページ
後期	1	1編 生命の科学	1節 A 視覚 B 目の構造とはたらき	P40~45	P10~11
		2章 ヒトの生命現象	2節 A 血糖 B 血糖濃度の調節	P46~51	P12~13
	2		3節 A 感染症から身を守るしくみ	P52~55	P14~15
			B 免疫のしくみと日常生活	P56~57	
	3		4節 A 遺伝子とDNA	P58~59	P16~17
			BC DNAからタンパク質	P60~63	
	4	2編 物質の科学	1節 A 資源の再利用と3R	P68~69	P22~23
		1章 材料とその再利用	2節 A 金属の性質 元素の周期表	P70~71,225	
	5		原子の構造 B 金属の区別	P71~75	
			C 金属の製錬 D 金属の再生利用	P76~81	P24~25
	6		3節 A プラスチックの性質と分類	P82~85	P26~27
			BC プラスチック製造・再生利用	P86~91	
7	3編 光や熱の科学	1節 A 原子や分子の熱運動	P140~141	P42~43	
	2章 熱の性質とその利用	B 熱容量と比熱 C 熱の伝わり方	P142~147		
8		2節 A 力学的エネルギーと熱エネルギー	P148~149	P44~45	
		B ほかのエネルギーから熱エネルギーへ	P150~151		
9		C 熱エネルギーから仕事への変換	P152~153		
		D エネルギーの有効利用	P154~155		
10	4編 宇宙や地球の科学	1節 A 地球の景観 B 山地や低地のでき方	P182~185	P54~55	
	2章 自然景観と自然災害	CD 火山、太陽のエネルギーがつくる景観	P186~189		
11		2節 A 自然災害とは B 地震による災害	P190~195	P56~57	
		C 火山による災害	P196~197		
12		D 気象災害・土砂災害と防災	P198~201		
		E 自然災害との付き合い方	P202~205		

レポート			
前/後	回	課題内容	締切日
前半	1	視覚とは何か	11/6
		眼球の構造・視細胞	
		血糖と血糖濃度の調整 感染症から体を守るしくみ	
	2	遺伝子とDNA	
		元素の周期表と原子の構造 資源の再利用と3R	
		金属の性質	
3	金属の製錬・さび		
	プラスチックの種類		
	石油の精製 プラスチックの構造		
後半	4	熱運動・熱の表し方	12/4
		熱容量と比熱	
		熱量の保存 熱の伝わり方	
	5	力学的エネルギーと熱エネルギー ほかのエネルギーから熱エネルギーへ 仕事	
		プレート運動	
		6	
太陽のエネルギーがつくる景観			
津波・地震火山による災害による災害 気象災害・防災			

2025年度 学習指導計画表

京都長尾谷高等学校

〔科目名：化学基礎〕〔単位数：2単位〕〔使用教科書：高等学校 新化学基礎〕〔使用副読本：ネオパルノート 化学基礎〕

学期	授業回	項目	教科書		副読本
			内容	ページ	ページ
後期	1	1章 物質の構成	1 物質の分離(1) 2 物質の分離(2)	P 18~21	P 2~3
		第1節 物質とその構成要素	3 物質を構成する元素 4 元素の確認	P 24~27	P 4~5
	2		5 物質の三態 6 原子のなりたち	P 30~33	P 6~9
			7 同位体とその利用 8 原子の電子配置	P 34~37	P 8~11
	3		9 元素の周期率と周期表	P 38~41	P 12~13
		第2節 化学結合	1 イオン(1) 2 イオン(2)	P 48~51	P 14~15
	4		3 イオン結合 4 イオンからなる物質	P 52~55	P 15~17
			5 共有結合(1) 6 共有結合(2)	P 56~59	P 18~19
	5		7 分子の極性 8 分子間に働く力	P 60~62	P 20~23
			9 分子からなる物質 10 共有結合の結晶	P 64~67	P 22~25
	6		11 金属結合と金属結晶	P 68~73	P 24~25
		第2章 物質の変化	1 原子量 2 分子量・式量	P 84~86	P 34~37
7	第1節 物質と化学反応式	3 物質と粒子の数 4 物質と質量	P 88~91	P 38~44	
		5 物質と気体の体積	P 92~95	P 41~44	
8		6 溶解と濃度 7 化学反応式(1)	P 96~99	P 45~51	
		8 化学反応式(2) 9 化学反応と量的関係	P 100~107	P 48~57	
9	第2節 酸・塩基とその反応	1 酸と塩基 2 酸と塩基の強弱	P 118~121	P 58~59	
		3 水素イオン濃度とpH 4 pHの測定	P 122~125	P 60~63	
10		5 中和と塩 6 中和の量的関係	P 126~129	P 64~66	
		7 中和滴定 8 中和滴定曲線	P 130~136	P 67~69	
11	第3節 酸化還元反応	1 酸化と還元 2 酸化数	P 144~147	P 70~72	
		3 酸化剤と還元剤(1) 4 酸化剤と還元剤(2)	P 148~151	P 73~77	
12		5 金属のイオン化傾向 6 金属の反応性	P 152~155	P 78~79	
		7 電池 8 電気分解	P 158~163	P 80~81	

レポート			
前/後	回	課題内容	締切日
前半	1	物質の分離	11/6
		物質を構成する元素	
		元素の確認 物質の三態	
	2	原子のなりたち	
		同位体とその利用	
		原子の電子配置	
3	元素の周期率と周期表		
	イオン イオン結合		
	共有結合 分子の極性		
後半	4	分子間に働く力	12/4
		分子からなる物質	
		金属結合と金属結晶	
	5	原子量・分子量・式量	
		物質と粒子の数	
		物質と質量	
6	物質と気体の体積		
	溶解と濃度		
	化学反応式		
5	酸と塩基 酸と塩基の強弱	12/4	
	水素イオン濃度とpH		
	中和と塩 中和の量的関係		
6	酸化と還元		12/4
	酸化数		
	金属のイオン化傾向 電池		

2025年度 学習指導計画表

京都長尾谷高等学校

〔科目名：生物基礎〕〔単位数：2単位〕〔使用教科書：i版 生物基礎〕

〔使用副読本：サンダイヤルNavi & トレーニング 新訂版 生物基礎〕

学期	授業回	項目	教科書		副読本
			内容	ページ	ページ
後期	1	第1部 生物の特徴	生物の多様性 生物の共通性	22~27	8~9
		1章 生物の特徴	生物の進化と系統 細胞と個体の成り立ち		
	2		真核細胞の構造 原核細胞の構造	30~40	10~13
			生命活動とエネルギー ATPの構造		
	3		生体内の化学反応と酵素	42~45	14~17
			光合成と呼吸		
	4	第2部 遺伝子とその働き	生物と遺伝情報	54~61	18~21
		2章 遺伝子とその働き	DNAの構造と遺伝情報		
	5		DNA複製 DNAと染色体	66~74	22~27
			細胞周期とDNAの配分 細胞周期とDNA量の変化		
	6		遺伝子発現とタンパク質 転写と翻訳	78~89	28~35
			遺伝暗号表 遺伝子発現と維持		
7	第3部 ヒトの体の調節	恒常性と体液 血液凝固と線溶 恒常性にかかわる神経系	96~117	38~47	
	3章 神経系と内分泌系による調節	自律神経と脳死 ホルモンによる調節 ホルモン分泌の調節			
8		血糖濃度の変化と糖尿病 血糖濃度の調節のしくみ 体温と水分量の調節	118~135	48~59	
	4章 免疫	生体防御の概要 遺物の侵入を阻止する仕組み 自然免疫のしくみ			
9		獲得免疫の概要 細胞性免疫と体液性免疫抗体とその利用	136~150	60~67	
		免疫記憶とその利用 免疫と病気			
10	第4部 生物の多様性と生態系	環境と生物 光の強さと植物 森林の階層 構造と土壌遷移の過程	160~183	68~79	
	5章 植生と遷移	遷移に伴う環境の変化 遷移と世界のバイオーム 日本のバイオーム			
11	6章 生態系とその保全	生態系における生物の役割 種多様性と食物連鎖 生態系と生態ピラミッド	184~199	80~85	
12		キーストーン種と絶滅 生態系のバランスと変動			
		人間活動と生態系 生物濃縮 外来生物	200~209	86~87	
		生物多様性と生態系の保全 生態系と人間生活			

レポート				
前/後	回	課題内容	締切日	
前半	1	生物の多様性	11/6	
		生物の共通性		
		生物進化と系統		
		真核細胞の構造		
	2	生命活動とエネルギー		
		ATPの構造 光合成と呼吸		
3	生物と遺伝情報			
	DNAの構造と遺伝情報			
後半	4	DNAと染色体		12/4
		細胞周期		
		遺伝子発現とタンパク質		
		転写と翻訳		
	5	恒常性と体液 恒常性にかかわる神経系		
		脳幹と自律神経系の分布		
6	ホルモンによる調節			
	血糖濃度の調節のしくみ			
5	生体防御の概要	12/4		
	遺物の侵入を阻止する仕組み			
6	自然免疫・獲得免疫の概要			
	細胞性免疫と体液性免疫 抗体とその利用			
6	環境と生物		12/4	
	光の強さと植物			
6	森林の階層構造と土壌			
	遷移の過程 世界のバイオーム			